

# まちせん便り

～まちものがたり～ vol.3

## 稲穂金山 まちづくりセンター

各地のまちづくりの取組を各まちセン  
からみなさんに向けて発信します!

東洋一の金山の歴史を発見しよう!  
オーロラ・ド・トウエーンヤの冒険

札幌の西端に位置し、国道5号を軸に南北に1キロ、東西に3.5キロに住宅地が連なり、約1万7千人の人々が暮らす稲穂・金山。

稲穂は、稲の穂がたわわに実る豊作を願い、金山は、金鉱石の産地であったことから、その名が付けられたと言われています。

一時、金鉱石の含有量が東洋一と言われた三菱金属鉱業の手稲鉱業所が昭和25年に閉鎖されるまでは、稲穂・金山には多くの鉱山労働者が住んでいました。昭和30年代の後半からは宅地造成が急速に進み、新旧の住民が混在する地域に。そして、平成となってからは、稲穂・金山といった地名の由来を知らない人も多くなりました。

こうした中、町内会を中心に『住民の新しい連帯とはいかにあるべきか』という意識が高まり、平成11年5月に稲

### 第1回稲穂・金山写真コンテスト作品募集

あなたの目を通したフレッシュ・アングルをぜひご応募ください。賞金総額は20万円です。

テーマ 「自然・風景」  
撮影場所 稲穂・金山で見た、見える自然、風景  
撮影者 稲穂・金山居住者（年齢不問）  
締め切り 平成18年2月10日（金）  
送り先・問い合わせ  
稲穂金山活性化推進委員会  
（稲穂金山まちづくりセンター内） ☎684-4020

穂金山活性化推進委員会（一ノ宮博昭委員長）が設立されました。  
委員会では今年度、手稲鉱山の歴史をひもとくことで、住民の方々に改めて地域の歴史に目を向けてもらうことを目的とした様々な事業を計画。かつての手稲鉱山の繁栄ぶりを学ぶ講座などを既に実施しました。



▲識者を招いた手稲鉱山解剖講座

今後も委員会では、関係者の協力を得て資料を収集し、当時の町並みなどを図上に再現したり、稲穂・金山写真コンテストを実施したりすることを予定しています。

マーク・トウエーンの童話「トムソーヤの冒険」では、いたずら好きなトム少年とその仲間たちが、洞窟の中から宝物を発見しました。稲穂・金山地区でも地域の歴史という「宝物」を発見しようと、オールド・トムソーヤたちは今日も冒険を続けています。

次回は手稲鉄北まちセンから。

## 広告欄